

(様式1)

## 平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 045	<b>提案機関名</b> 農業技術センター畜産技術所普及指導課
<b>要望問題名</b> 優良種豚の精液の保存について	
<b>要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】</b> 県内の一貫経営においては、限られた施設の中で優良種豚の確保に取り組んでいるが、当該種豚に事故などが発生した場合、後継種豚の確保に支障をきたすことがあり、現場からは、優良種豚精液の凍結保存ができないものかとの要望がある。 特に、肉豚の発育や肉質に直接影響を及ぼす止め雄における優良遺伝子の確保は、各農場における良質肉豚の安定生産に極めて重要である。 そこで、優良種雄豚の遺伝能力を保存し将来における凍結保存精液の供給体制構築に資することを目的に、当所における精液の凍結保存方法を確立していただきたい。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術所    ③水産技術センター ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	農業技術センター畜産技術所	<b>担当部所</b>	企画研究課
<b>対応区分</b>	① 実施    ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b>	(①、②、④の場合) 豚精液の凍結保存に関する試験(1995、神畜試研報 No85)		
<b>対応の内容等</b>	豚精液の凍結保存技術については、過去、試験課題として取り組んでおります。この方法では融解後の生存率が低く、産子数も少ないのですが、優良遺伝子の保存を目的とした場合、技術は確立されていると考えられます。 しかしながら、生産現場での利用に向けては、融解後の生存率や産子数の改善が必要であると考えられますので、まずは場内で凍結精液を作成するとともに試験課題化に向け検討していきたいと考えています。		
<b>解決予定年限</b>	①1年以内    ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
<b>備考</b>	豚凍結精液利用技術マニュアル(1989,社日本家畜人工授精師協会)		